

令和5年 2月 10日

令和4年度 社内監査（事業者自己評価）

一般社団法人 あまね

生活介護いーはとーぶ

○就業中の職員で評価を行いました。

- 1, よくできている。
- 2, まだ改善の余地があり満足できていない。
- 3, 改善の必要がある。
- 4, わからない

以上の4段階で評価しました。多数の職員が2・3と評価した項目については、改めて改善に向けての対策を検討しました。4と評価した項目については職員への実施状況を周知いたしました。
担当 一般社団法人あまね 堤 恵子

	評価者	管理者	大野英	山崎	藤本雅	野田温	松田	生方				職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係上適切であるか	3			1	1	1	1				利用者の増加に伴い現在生活介護棟の増築工事をしている。3月末から使用予定。
	2	職員の配置数は適切であるか	1			1	1	1	1				基準人員以上に加配している。しかし、利用者の重症度や特性上もっと人員が必要と感じる時もあるため、現在求人をかけている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1			1	1	1	1				床面のバリアフリー化はなされているが、通路や入り口が車いすが通るには狭いと感じる場所がある。今後そちらについても改善していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	1			1	1	1	1				今後研修や教育を受ける機会を増やし、より良い支援を目指していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1			1	4	1	1				年に1回アンケートを実施し、意見を頂いている。結果はホームページへ掲載している。職員への共有を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1			1	1	1	1				ホームページに公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3			1	4	1	1				2021年以降外部評価を受けていない。今后再評価を受ける必要あり。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1			1	1	1	1				毎月社内研修を行っている。今年は自閉症支援についての基礎的研修も年間を通しておこなった。

	評価者	管理者	大野英	山崎	藤本雅	野田温	松田	生方				職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上通所支援計画を作成しているか。	1			1	1	1	1				定期的に会議を行い、利用者様や保護者様の要望を確認したうえで計画の作成を行っている。今後、より個別性を生かした計画の作成に取り組んでいく。
	10	利用者の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3			1	1	1	1				自社独自のアセスメントシートにて情報収集を行い、実施してきた。今後はそれに加えて必要時は標準化されたアセスメントツールも活用し、よりよい情報分析を行っていきたいと考えている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1			1	1	4	1				プログラムの立案はチームで行っているが、その後の修正・変更内容を全体で共有することが難しい事があった。今後定期的にケース会議を行い、計画の共有を行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1			1	1	4	1				季節ごとにイベントをおこなったり、担当を定期的に変更するなどしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2			1	1	1	1				休日や長期休暇など1日の利用時間が長い時は、より細やかな療育・支援計画をたて、実施していく。
	14	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる通所支援計画を作成しているか	1			1	1	1	1				利用者の特性に合わせて通所支援計画を作成できている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2			1	1	1	1				基本的には行えているが、送迎や会議などで午前中多忙な時は行えていないため、他職員に依頼するなどし、打ち合わせを行っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2			1	1	1	1				全体メールを利用し、情報共有を行えている。

	評価者	管理者	大野英	山崎	藤本雅	野田温	松田	生方				職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2			1	1	1	1				個別支援計画の目標を意識した記録や評価がなされていない。計画を意識した記録や評価を行うよう周知した。
	18	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	1			1	1	1	1				定期的にモニタリングを行い、計画の妥当性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	1			1	1	4	1				ガイドラインを知らない職員へは周知を行った。活動は複数組み合わせ合わせて行っており、さらに自社サービスも行っている。
	20	相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	1			1	1	1	1				利用者の状況を理解している職員が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画)・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	1			1	1	1	1				学校との行事予定や下校時間などの情報共有は密に行えている
	22	医療的ケアが必要な利用者を受け入れる場合は、利用者の主治医等と連絡体制を整えている	1			1	1	1	1				利用開始時に主治医に看護指示書を依頼し、主治医の指示の元、医療的ケアを実施している。利用中の様子は医師報告書を作成し、報告・相談できている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3			1	4	1	1				未就学から就学される場合の情報共有や移行支援会議は行っていない。今後検討していく必要がある。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1			1	1	1	1				移行支援会議が開催されれば情報提供しているが、ない場合は提供できていない。今後は配慮していきたい。	

	評価者	管理者	大野英	山崎	藤本雅	野田温	松田	生方					職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1			1	1	1	1					今年度より外部研修を再開できた。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	2			1	1	2	1					コロナにより行えていなかった。状況が落ち着けばまた活動の機会を設けていく予定。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1			1	4	4	1					可能な限り参加している
	28	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1			1	1	1	1					送迎の際にデイや家庭での様子を伝えあい、共通理解に努めている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3			1	1	1	1					必要と思われる際はアドバイスとして助言は行っている。また、保護者様から相談を受けた際も助言は行っている。ペアレントトレーニングについては学んでいく必要がある
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1			1	1	1	1					契約の際に丁寧な説明を心掛けている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか	1			1	1	1	1					悩み等の相談があった際は丁寧に対応し、必要な助言ができるよう対応している
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2			1	1	2	1				・コロナ禍で開催が難しい状況にあると思う	保護者同士の連携を支援していきたいと思っているが、ここ3年はコロナにより行えていない。状況が落ち着けばまた開催していく予定	

	評価者	管理者	大野英	山崎	藤本雅	野田温	松田	生方					職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	33	利用者や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用者や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2			1	1	1	1					苦情対応体制はマニュアルを作成し、整えている。しかし、対応の仕方が職員によりまちまちなことがあるため、周知・教育していく必要がある
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や保護者に対して発信しているか	1			1	1	1	1					保護者向けのお便りを定期的に発行し、情報を発信できている
	35	個人情報に十分注意しているか	1			1	1	1	1					配慮できている
	36	利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1			1	1	2	1					配慮している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3			1	1	4	1				・コロナ禍で出来ない状況にあると思う	開かれた運営を行いたいと心掛けているが、コロナによりここ3年はできていない。状況が落ち着けば企画開催をおこなっていく予定
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2			1	1	1	1					各種策定はしている。保護者会等で周知できる機会を作っていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1			1	1	1	1					年2回、消防署と協力し、避難訓練を実施している
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1			1	1	1	1					年1回虐待防止の研修を開催している	

